

森林と人とのなげたい 通信 森倶楽部21

2023年11月 第252号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。
里山はたくさんの生きもののよりどころです。
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、
未来に引き継いでいくことが願いです！

森林の里親事業

森林(もり)の里親契約を結んでいる「コープながの」さんと、「森のがっこう・里山の草花と竹筒で万華鏡づくり」を10月29日(日)薄曇りのなか行った。竹を利用することで「放置竹林問題」に触れ、身近な里山の資源である竹の有効活用を楽しみながら学ぶ企画である。

一般参加者4家族13名(大人6名、子ども7名)とコープながのの理事・スタッフ6名、森倶楽部21会員7名が天平の森研修棟に集まった。

万華鏡本体の材料である竹は、事前に矢ノ沢地区の竹林から許可を得て伐り、丁度良い太さの部分を切り出し用意した。

集まった順に名札づくり。太さが10cmくらいの木を薄く輪切りした木札に名前を書いてもらうことから始めた。好きな木札を探し、マジックインクで色とりどりに名前を書くのだが、ここで子どもも大人も大盛り上がり。



家族ごとに机に分かれたところで、始めの会があり、コープながのさんより森倶楽部21への寄付金贈呈式があった。



続いて、リーダーから万華鏡づくりの説明があり、家族ごとに取り掛かった。

竹を切り、のぞき穴をあけ、板鏡を竹筒に入れ込み、華を作るための小さなカップを貼付け、首から下げる紐をつけ出来

上がり。工程が進むごとに詳しい説明や注意事項があり、各家族についた会員からの手ほどきもあり、みな時間内に出来上がった。

その後、カップに入れるものを探しに外に出た。まず、色づいた



ウルシを誤ってつかんでかぶれないように最初にウルシから見もらった。ウルシが羽状複葉である話は子どもより大人の方が感心していたが、ウルシとよく似たヌルデとの区別はまだ付きにくいようであった。ウルシに気を付けながら遊歩道を歩き、いろいろな植物の実を採って研修棟に戻り、カップの中に入れ万華鏡をのぞいてみた。入れた木の実による違いなど試して万華鏡の作り出す模様を楽しんだ。



最後に、終わりの会で「親子で万華鏡を作ったり、散策をしたりで楽しかった」との感想をいただき、お土産に竹で作ったトンボをお渡しし解散となった。

会員にとっても、素直に反応してくれる子どもたちと過ごすことができた楽しい半日であった。

竹万華鏡づくりは久しぶりであったが、以前行ったときの写真マニュアルがあり、準備がしやすかった。また、前回グルーガンを使用してやけどの心配をしたので、今回は両面テープにしたことで、やけどの心配なくしっかりした万華鏡ができるようになった。製作中に好きな紐を選ぶ過程があったり、親子で共同する作業があったりでバリエーションある工程が工夫されてきた。



活動から

《安曇野環境フェア展示参加》

日 時：10月7日（土）8:30～16:00 天気：曇り
10月8日（日）9:00～16:00 天気：曇りのち雨 【森林整備活動】
参加者：会員4名（7日） 3名（8日）
活動場所：安曇野市堀金総合体育館
活動内容：安曇野市環境フェア展示参加

久しぶりに堀金総合体育館で開催された安曇野市環境フェアは展示のみの参加をした。前回から森倶楽部21の基本方針のポスターに加え毎月作成している最新の「活動報告」と活動地に掲示している「今月の観察ポイント」を展示し活動や自然の様子を伝えることができたようになった。

2日間を通じて、残念ながら熱心に展示物を見たり、話を聞いてくださる方は少なかった。体験やスタンプラリーの景品が目的の方が多いのかと感じた。体験ブースをやっていた時たくさんの方が寄って下さったが、活動に関しては興味を持って話を聞いてくださる方は少なかったので、安曇野市内で環境保全活動を行っている森倶楽部21の存在を示すことと他の団体との交流の機会ととらえて参加していくことが重要かと思った。



《シカの食害の現状把握、天平自然園草刈り》

日 時：10月10日（火）9:30～14:30 天気：晴れ 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員6名 講師：小山泰弘氏（長野県林業総合センター）

活動場所：天平自然園、蝶の森草原、

活動内容：シカの生息や食圧(環境用語で動物が植物を食べる強度)についての現状把握、天平自然園草刈り

長峰山でシカの食圧が高まっており、どう対応していくか、柵の設置も念頭に置きながら、アドバイスをいただくために専門家である小山さんといっしょに現地を歩いた。

はじめに絆の森の、天平自然園や希少種保全区域を歩いた。自然園はシカの休んだ跡やフンもあり、ワラビ以外がすっかり食べられているところもあった。専門家とともに改めてフィールドサイン(動物の活動を示す痕跡、足跡・食痕・糞など)を探すと、予想よりもかなり影響が大きいことに驚く。谷筋近くの耕作地は有毒のヨウシュヤマゴボウも含めてかなり食べられている。



ヨウシュヤマゴボウの食べ跡



その後蝶の森の草原も見てまわった。

林内では障害物のないところを通り道として使っているようすも観察。小山さんからはシカの生態とともにシカが入りにくい環境にするにはどうしたらいいのか、保全の考え方などについて詳しく教えていただいた。柵についても具体的な材料と設置方法を伺い大変参考になった。その中でも、シカが通り抜けたくならないように“いやがらせ”と称する、刈った草や切った木の枝などを通り道になりそうなところに邪魔するように積んでおくという方法は目から鱗であり、すぐにもできると思った。切った枝や刈り草を遊歩道の外側まで運び、目障りにならないようきちんと片付けていた今までの方法から考えを変えていきたい。

その後、天平自然園の草刈りを実施した。刈払機6台で1時間30分ほどで作業を終了することができた。

《蝶の森草原草刈りなど》

日 時：10月17日（火）9:00～14:00 天気：晴れ 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員6名

活動場所：蝶の森、天平自然園

活動内容：蝶の森草原、自然園（残り）の草刈り 蝶の森遊歩道入口の整備

秋晴れのもと、年間必須の活動である蝶の森草原の草刈りを行った。新品のチップソーを装着した会員に繊細な草刈りが必要なオミナエシなどのロゼットのある部分を、他の人はそれ以外の部分の草刈りをした。天候にも恵まれ休憩時間までに終了した。休憩中、東屋のそばの桜の木になぜか数頭のオオスズメバチが集まってきて、(大きさから働きバチと思われる)人にもまとわりつきそうだったので危険を感じ早々に退散した。幸い刺された人はいなかった。その後、蝶の森への入口に伸びた枝やクズが気になったので全員で枝の除去、つる切りなどを行った。



午後は自然園のレンゲツツジの間のツルの除去と刈り残した草を手鎌と刈払機で処理した。刈り草の片付けは22日の長峰山頂草刈り終了後に行うことに決めた。



リンゴドクガの幼虫

《長峰山山頂草原草刈り》

日 時：10月22日（日）8:00～12:00 天気：晴れ 【会全体活動】

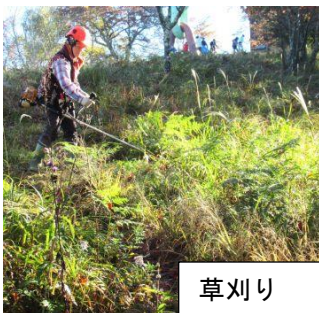
参加者：会員7名

活動場所：長峰山山頂草原、蝶の森

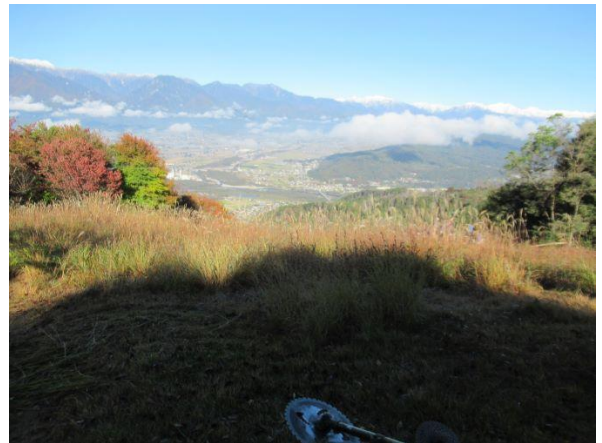
活動内容：明科宮中地区主催の山頂草原晩秋の草刈り、蝶の森草原刈草の片付け

例年の通り、明科宮中地区が主体で秋の長峰山山頂草原草刈りが8時から行われた。

素晴らしい秋晴れの好天で、雪のかぶった北アルプス北部や山麓の紅葉が始まった常念山脈の山々が眺められた。参加したのは森倶楽部21、「さとプロ」、安曇野パラグライダークラブ、ハングライダーの団体と、明科宮中地区のみなさん、安曇野市から公園緑地課と耕地林務課の職員であった。



草刈り



森倶楽部21の参加人数が少なく心配したが、さとふる。と市の職員に協力していただき、終了予定の10時にはほぼ受け持ち区域の作業を終えることができた。

その後、蝶の森に移動し、先日の活動で刈り払った草の処理を行った。今回は、シカへの“いやがらせ”対策の試みとして刈り草を草原外まで持ち出さずに、林縁部や草原周囲の小道や遊歩道の両脇などに積み上げておいた。また、草原整備前のまま手を付けないである「対照区」の木の枝が茂り日陰になるので、はみ出した枝を剪定した。

早朝からの作業であったが、最後は東屋で弁当を食べながら歓談し解散とした。



対照区の枝の剪定



剪定後



いやがらせになるかな？



ミニ自然観察会報告



10月22日(日) 13:00～14:20 天気：晴れ

コース：天平の森駐車場～水平道～馬車道～自然園～駐車場

参加者：会員3名

来週実施するコープながののイベントで行う万華鏡の材料集め&森クイズ&散策の下見を兼ねて、烏帽子峰入口から水平道、馬車道コースを歩きました。木々の葉も色付きはじめ、開花植物はもうわずかしかなかったようですが、秋らしく赤や紫の木の実が10種以上見つかりました。子供たちがどのような反応をしてくれるのか想像しながら楽しく歩きました。



ウワミズザクラの黄葉



クサギ



クマミズキの落ちた花柄に残った実



アオツヅラフジ

【今日のめだま】 《サラシナショウマ》

上を向いた木々の実探しから目線を下におとすと、道の両脇のシカの食べた跡が目につきました。カモガヤやニセアカシア、ヤマブキは想定内でしたがワラビ、オシダ、ヨウシュヤマゴボウなども食べるんだと驚きました。先日シカの生息状況見回りの時お聞きした、「シカも好きな物から食べ、嫌いな物や食べにくい物、毒のあるものは後回しになる」とのお話を思い出しました。ゲテモノ食いのシカがいるのか、食べ物が減っているのか考えながら水平道を歩いていた時、オシダの陰にサラシナショウマの白い花を見つけました。今年何度もシカの食べ跡を見つけた場所でしたのでその生命力に感心しました。オシダが守ってくれたのでしょうか？



来年は私たちが、シカから守ってやることを検討したいと思いました。

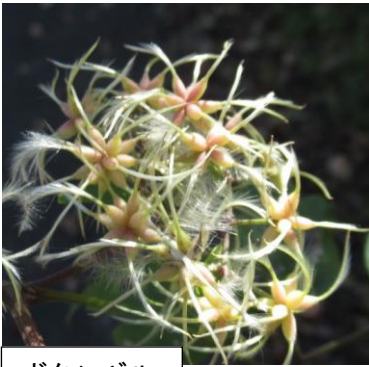
【確認した開花植物】

草本 アキノキリンソウ、アズミノアザミ、イヌタデ、コウゾリナ、サラシナショウマ、シロツメクサ、セイタカアワダチソウ、タムラソウ、ノコンギク、ハナタデ、ヒメジョオン、ママコノシリヌグイ、ミズヒキ、ヤクシソウ、リュウノウギク

【実を確認した植物】 アオツヅラフジ、イチイ、イタドリ、オトコエシ、ガマズミ、カラコギカエデ、クサギ、クマノミズキ、クロウメモドキ、ズミ、タラノキ、ツリバナ、ノブドウ、ヘクソカズラ、ボタンヅル、マムシグサ、マユミ、ムラサキシキブ

今年最後の ミニ自然観察会

次回は 11月26日(日)13時00分 天平の森駐車場 集合
予約不要



ボタンヅル



ムラサキシキブ



ガマズミ



イタドリ



ノブドウ



マムシグサ

2023年11月・12月活動予定

	日	行 事	集 合 場 所	時 間
11月	12(日)	森林整備活動	きより館	9:00 ~
	14(火)	絆・蝶の森活動	天平の森駐車場	9:30 ~
	21(火)	絆・蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30 ~
	26(日)	矢ノ沢側溝ざらい	きより館	8:30 ~
ミニ自然観察会		天平の森駐車場	13:00 ~	

12月の活動については天候と道路状況で判断し、決定したら各リーダーから倶楽部メールにて連絡を出します。



秋のレンゲツツジ

会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、
随時受け付け中です。
お気軽にお問い合わせください。

◇会費 正会員 : 3,000 円
賛助会員 : 4,000 円

一緒によい汗ながしませんか？



- 発行
特定非営利活動法人
森倶楽部 21
- E-mail npomoriclub21@gmail.com
- URL <https://mori21.com/>
- <https://www.facebook.com/morikurabu21>